

伊豆半島北東部の地殻変動*

Crustal deformation in the northeastern Izu peninsula

国土地理院

Geographical Survey Institute

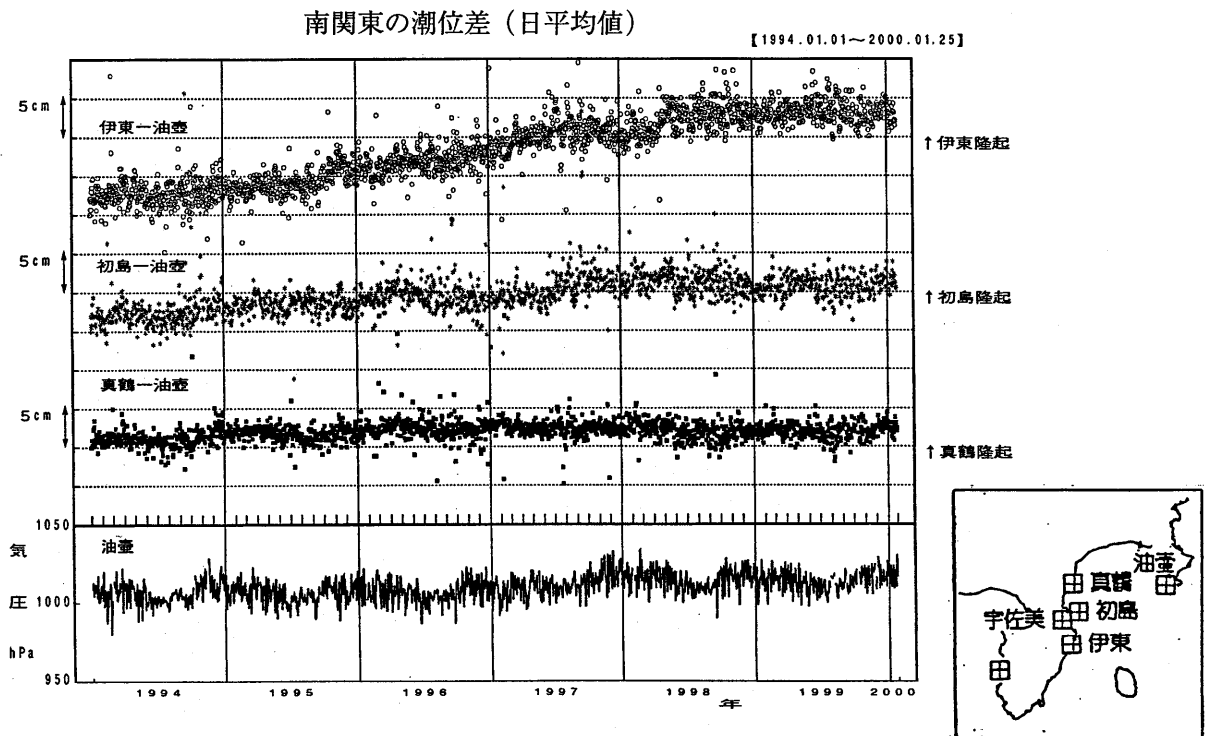
伊豆半島の地震活動はこのところ静穏である。地殻変動においても目立った変化は起きていない。

第1図は、伊東・初島・真鶴・油壺験潮場間の日平均潮位差である。1998年中頃まで伊東は周囲の験潮場に比べて継続的に隆起していたが、現在は、伊東の隆起が停止しているように見える。

第2図は、小室山-宇佐見間の光波測距儀による連続観測結果である。1998年5月以降、群発地震活動は発生していないが、気象の影響による見かけの変動を除き、辺長にも特に大きな変化は見られない。

第3-1図～第3-3図は、1998年8月から2000年1月までの伊豆半島東部におけるGPS連続観測結果である。1998年4～5月の群発地震活動以降この地域の地殻活動は静穏であり、特に、顕著な変動はない。なお、1998年10月頃及び1999年3月頃に、宇佐見及び伊東に関する基線において若干の値の飛びが見られるが、これは、アンテナ保護を目的とするレドーム設置に起因するもので、地殻変動を表すものではない。伊豆八幡野に関する比高はゆらぎが見えるが、この点固有の問題である可能性が高い。

第4-1図および第4-2図は水準測量による伊東半島の上下変動である。1998年4～5月の伊豆半島東部伊東市周辺の群発地震活動以降、最近は、目だつた上下変動は発生していない。

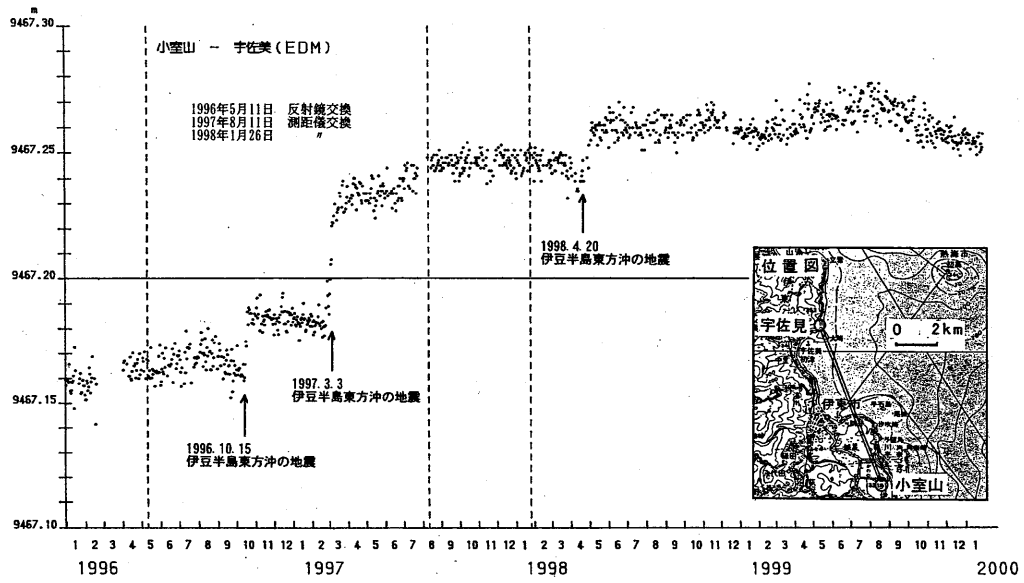


第1図 伊東・初島・真鶴・油壺験潮場間の月平均潮位差

Fig. 1 Time series plots of monthly mean differences between sea levels recorded at Aburatsubo, Ito, Hatsushima and Manazuru tidal stations.

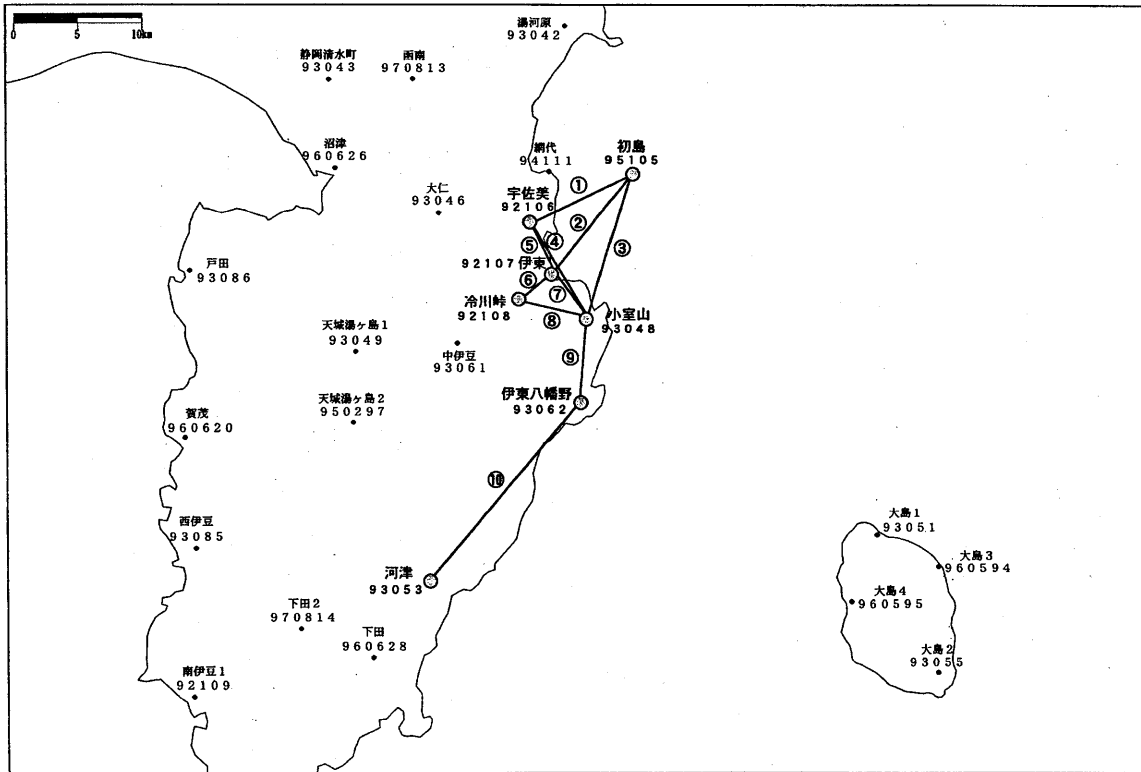
*Received 9 Jan.,2001

伊東東部連続観測（辺長）日平均結果



第2図 光波測距儀による宇佐見-小室山間基線長変化時系列 1996年1月~2000年1月
Fig. 2 Time series of distance between Usami and Komuroyama during the period from January 1996 to January 2000.

G P S 連続観測 伊東地区基線図

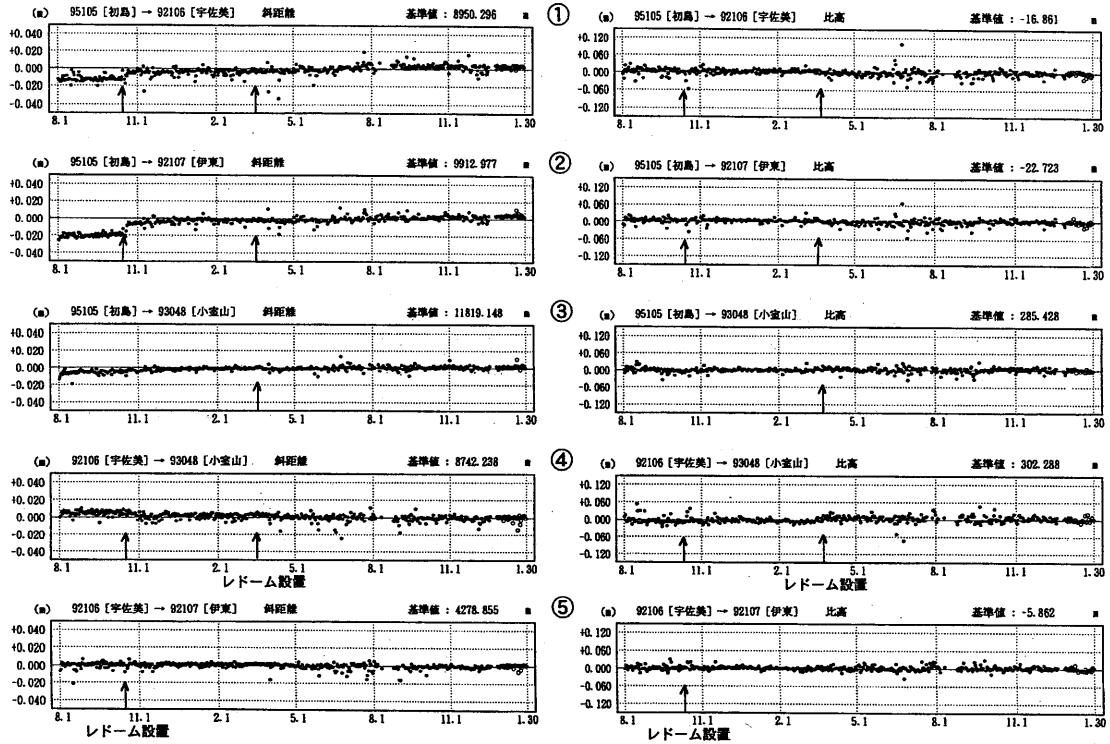


建設省国土地理院

第3-1図 伊豆半島東部のGPS連続観測配点図
Fig. 3-1 Map showing the continuous GPS observation points in the eastern part of Izu peninsula.

座標系: WGS84

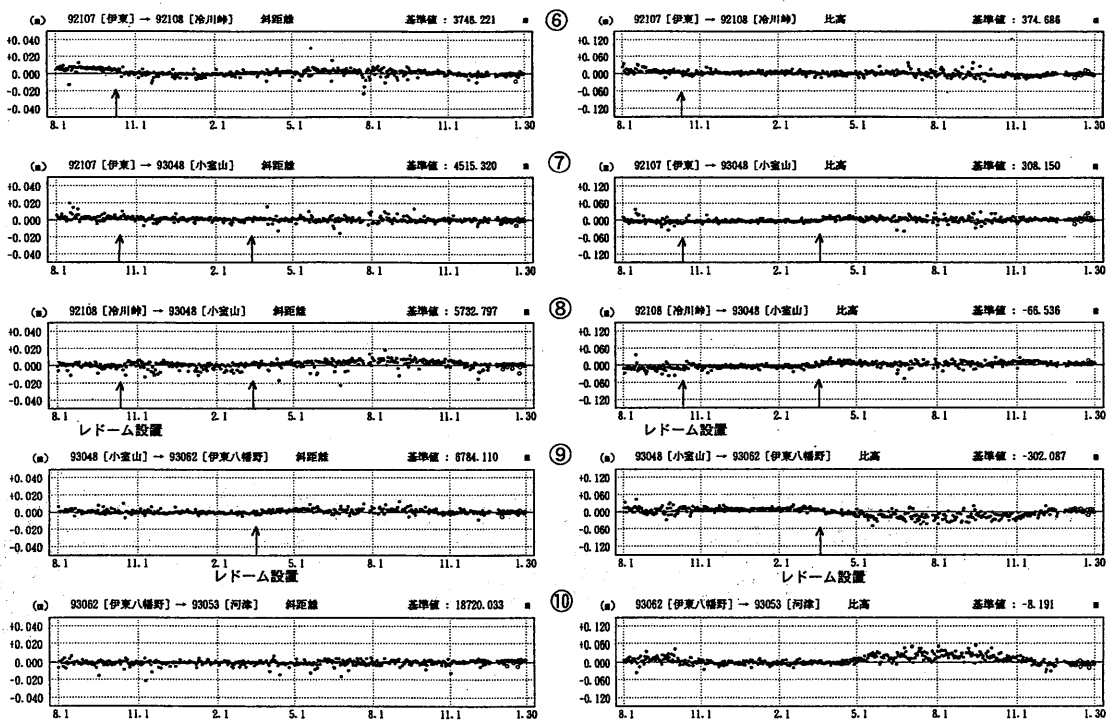
基線長変化グラフ



期 間: 1998年8月1日 ~ 2000年1月30日

基線長変化グラフ

(2/2)

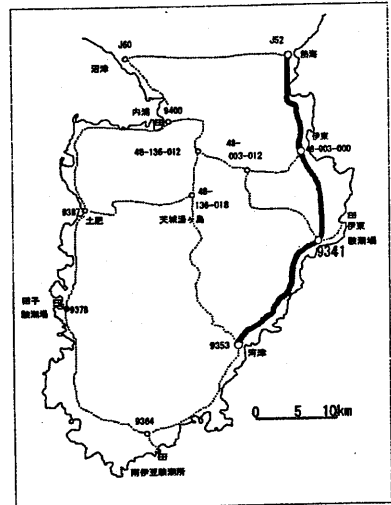
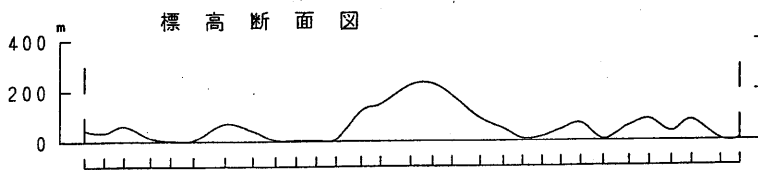
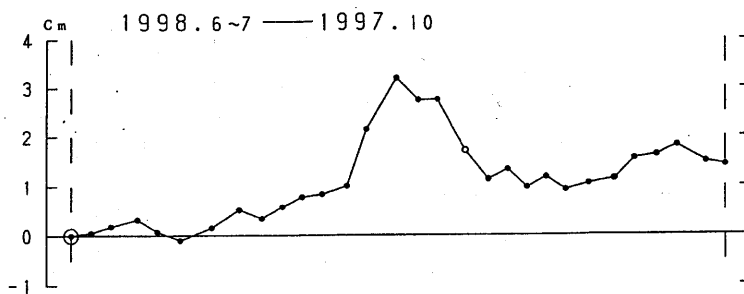
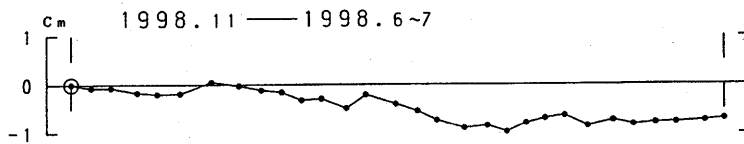
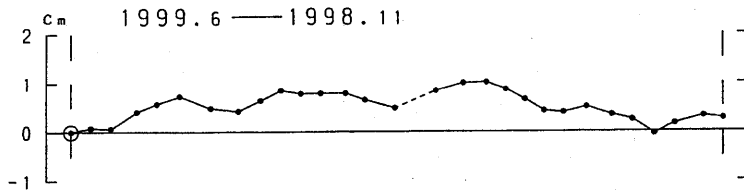
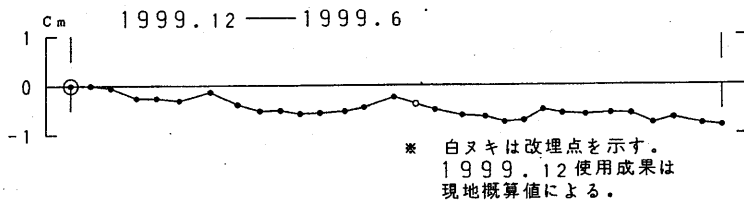
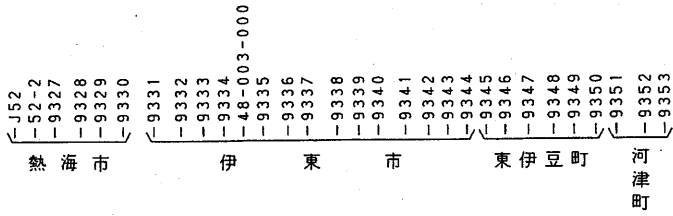


● --- Bernese[IGS層] ○ --- Bernese[組合せ層]

建設省国土地理院

第3-2図から第3-3図 伊豆半島東部の各GPS観測点間の基線長及び変化 1998年8月-2000年1月
 Fig.3-2 through Fig.3-3 GPS time series of distances and relative heights between sites in the eastern part of Izu peninsula. August,1998-January,2000.

熱海～伊東～河津間の上下変動



第4-1図から第4-2図 水準測量による伊豆半島の上下変動
 Fig.4-1 through Fig.4-2 Vertical displacement derived from precise leveling survey in the Izu peninsula.

